

社会医療法人
生きる会

瀬戸内海病院

総合的に診察できる 医療を目指す

▶病院の外観



瀬戸内海病院は、昭和52年に開設して以来、基本理念に掲げる「患者様に安心していただくこと」を使命として、地域医療の第1線病院として多くのニーズに応えられるよう各部門の人員、医療機器の充実と質の向上、チームワークの涵養に努めてきました。

質の向上と信頼 できる医療の確保

消化器科、循環器科、糖尿病内科、神経内科、乳癌、外科、整形外科、小児科の各科医師を置き、CT、MRI、内視鏡、超音波検査（心臓腹



院長 小堀 陽一郎 医師

院長からのメッセージ

患者さんのあらゆる症状に対応できる地域のかかりつけ病院を目指します。



部乳腺・甲状腺）、ABI（動脈硬化、狭窄）、DPN（糖尿病性神経障害）、睡眠時無呼吸検査などを揃え、専門分野のみでなく、あらゆる症状の患者様を、救急診療を含め、多方面から総合的に診るプライマリ・ケアのできるバランスの取れた医療を院長の小堀陽一郎医師は目指しています。

「世の中の目まぐるしい変化に従い、医療も変わつてきました。ただし、その根底にある『思いやり』という本質は変わりません。今後も皆様に信頼され、共に発展し、二層地域医療に貢献できますよう、益々努力してまいります」と小堀院長。

苦痛の少ない検査 治療を心がけ

小堀院長の担当する消化器科では、鼻から挿入できる直径約6mmの細径胃内視鏡検査、通常の大腸内視鏡検査に加えて、体外から大腸の全体像や病変の立体3D画像や仮想内視鏡像が得られるCTコログラフィも活用し、鎮痛鎮静剤の使用も含め、苦痛の少ない検査、治療を心がけています。



▲リハビリの様子

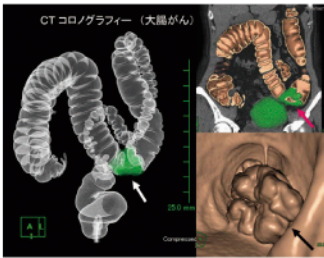


▲内視鏡の施術風景

また、地域の救急輪番病院としても、現在は月に3〜4回、内科、外科、小児科の各担当医を配置し、あらゆる症状の患者様に対応できるよう態勢を整えています。周辺の各医療機関・大学病院がセンターなどと密に連携をとり、病状やご希望に応じた対応をしています。

同院では、入院早期から個々の体調や病状に応じたリハビリテーションを行っており、充実したスタッフにより、廃用症候群の予防に努め、スムーズな退院、生活復帰を目指します。退院後も必要があれば、通院訪問リハビリも行っています。

▶大腸の立体画像が見られるCTコロノグラフィ



社会医療法人 生きる会
瀬戸内海病院
☎0898-23-0655

<http://www.ikirukai.or.jp/>

住所 ▶ 今治市北来町2-4-9
診療科目 ▶ 内科・外科・整形外科
小児科・消化器科
循環器科・糖尿病内科・呼吸器科
放射線科・リハビリテーション科
休診日 ▶ 日曜日・祝祭日※救急日を除く

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	休
14:00~17:30	○	○	○	○	○	休	休